



## 土づくり

### 豊作のまず手はじめは土づくり

水稲をはじめすべての作物を栽培していくうえで、土づくりは重要な作業のひとつです。

土づくりをすることで水はけや水もち、通気性、保肥力などの改善がはかれます。また近年の集中豪雨や高温干ばつなどの異常気象の際にも被害を最小限にとどめることが期待できます。今年産の作付を前に土づくりがまだ出来ない場合は、下記を参考に土づくりを行いましょ。

(作物別土づくり資材の施用量)

作物	資材名	施肥量(10a当り)
水稲	堆肥(又はアヅミン)	2,000kg(40kg)
	土力の達人	80kg
黒大豆 黒枝豆	堆肥(又はアヅミン)	2,000kg(40kg)
	ハレー28	200kg

作物	資材名	施肥量(10a当り)
山の芋	堆肥(又はアヅミン)	2,000kg(40kg)
	ミネカリンP-3	400kg
小豆	堆肥(又はアヅミン)	2,000kg(40kg)

<執筆:営農指導課/TAC山崎>

## 丹波篠山茶

### 整枝・寒害とその対策

#### 整枝

・秋整枝が行えていない茶園では、一番茶への古葉・枝の混入防止のため、春整枝を行いましょ。春整枝の時期は寒害の心配がなくなる時期(3月中旬頃)に実施し、刈り込む深さは秋整枝より浅くし、越冬した芽をなるべく刈り込まないようにします。深く刈り込むと芽数の減少による減収、摘採時期の遅れにつながるため注意しましょ。



#### 寒害とその対策

- ・「青枯れ(寒干害)」・・・寒風によって葉からの水分蒸散が促進されたり、低温による土壌・幹の凍結によって水分供給が絶たれ、水分の吸収と蒸散のバランスが崩れたときに発生します。葉が乾燥して光沢がなくなって青白く見え、さらに時間の経過や雨で酸化し、赤く変色、変形します。
- ・「赤枯れ(凍害)」・・・茶樹が強い低温(-10℃以下)に長時間さらされたり、初冬などの耐寒性のない状態で低温にあたると葉が赤褐色になり、-15℃以下になると葉や枝が枯死します。

#### <対策>

- ・これらの寒害の被害対策としては、防風ネット(網目2~4ミリ程度)の設置が効果的です。土壌の凍結や乾燥、地温低下防止として敷きワラを敷設します。敷設の方法は、成木では畝間全体に、幼木では株元に敷設します。また、昨年のような、低温が予想される場合は防霜ファンを回すことにより症状を軽減できます。
- ・寒害被害が発生した場合は、赤焼け病を助長するので、被害を軽減するため銅水和剤の散布を行いましょ。また、むやみな刈り落としは控え、春整枝時期まで待つて被害葉の刈り取りを行いましょ。

<執筆:営農指導課/TAC山崎>

今後の  
24時間OK/  
農業技術テレホンサービス  
電話:079-556-3384

1月18日 ▶ 1月31日  
手軽でおいしい  
漬物の作り方

2月1日 ▶ 2月14日  
春の野菜の  
栽培管理

2月15日 ▶ 2月28日  
馬鈴薯の  
植え付けと管理

丹波篠山農産物相談・研究センター 開所日時:月・水・金の週3日 10:00~12:00 (ただし祝日・年末年始を除く)



## 平成30年度地区別営農相談会日程



地区別営農相談会を下記の日程で開催します。相談会では、平成30年度生産販売状況の報告や、次年度に向けた特産振興作物・農業振興計画などの営農情報を中心に進行いたします。ぜひとも、皆様多数お越しください。

月日	曜日	時間	地区	会場
2月4日	月	19時00分~20時30分	味間	丹波広域農業研修センター
2月5日	火	13時30分~15時00分	大山	神田荘
			畑	みたけ会館
		19時00分~20時30分	城南	城南コミュニティセンター
2月6日	水	19時00分~20時30分	岡野	岡野コミュニティセンター
			草山	しゃくなげ会館
2月7日	木	13時30分~15時00分	城北	玉水会館
			南河内	西紀老人福祉センター
			日置	城東公民館
			福住	福住コミュニティセンター
			19時00分~20時30分	北河内
2月8日	金	13時30分~15時00分	古市	古市コミュニティ消防センター
			今田	今田まちづくりセンター
			後川	後川文化センター
2月12日	火	13時30分~15時00分	雲部	雲部コミュニティセンター
			村雲	ハートピアセンター
2月13日	水	19時00分~20時30分	大芋	大芋公民館
			八上	高城会館

※各日ともご都合に合わせてどの会場へ出席していただいても結構です。